

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

発想力は移動距離に比例する 山中 俊之 (著述家・芸術文化観光専門職大学教授)

1. デカルト、モーツァルト、ゲーテ。3人の共通事項は何か。この3人に共通するのが、「旅」をととても重視していたことだ。モーツァルトは、36年という短い人生のおおよそ3分の1を旅に費やしたといわれる。父親のレオパルト・モーツァルトが「旅は視野を広げる」と確信していたので、モーツァルトは子供の頃から、演奏旅行を兼ねた旅に連れ出されていた。
2. デカルトは、従軍目的を含めてオランダやドイツを遍歴し、最後はスウェーデンで客死する。デカルトは行動派だ。従軍までして戦争を体験しているのだから、その哲学は豊富な実体験に基づいている。ゲーテは、作家として名を残したが、実は科学者の顔も持つ。各地を鉱物や植物を採集して回った。また、「旅が人生の目的である」との名言も残している。
3. 3人とも、むしろ普段の生活領域から抜け出すことで新しい刺激を得て、それを創作のヒントにしてきた。世界史に残る偉業は、旅から生まれたと言っても過言ではないだろう。多くの経営者や経営学者が、「発想力は、移動した距離に比例する」と指摘している。さまざまな事象を実地で見聞することで五感が刺激され視野が広がる。忙しいビジネスパーソンこそ、意図的に時間を作って国内外の旅に出るべきだ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2022年8月6日・13日号)

経営者のための理念・哲学

人間学について

1. 心について松下幸之助氏にこういう言葉がある。「心が開けば宇宙大にまで広がり、心を閉ざせば自殺にまで追い込んでしまう」。松下幸之助の体験からつかみ取った言葉である。中江藤樹は言う。「学問には品あまたありといへども、心を修むる学問のみ正真の学問なり。この正真の学問は天下第一等のことにして人間の第一間なり」。
2. いろいろな学問がある中で、心を修める学問こそ天下第一、人がまず第一に学ばなければならない学問だと言っている。森信三は言う。「休息は睡眠以外には不要、という人間になること。すべてはそこから始まるのです」「人間は自己に与えられた条件をギリギリまで生かすという事が人生の生き方の最大最深の秘訣」。

(参考:「致知」2022年10月号)

人事・労務について

異端経営者は人と違う道歩んできた

1. 多くの大企業から「変革を担う人材が社内にはいない」という声が出る。これまで日本の企業は変化を起こそうとする「異端児」の芽を摘み取り、「出るくいな社員」をたたきのめし、あえて凡人の集団にしてきたのではないのか。現在、数は少ないが、かつて「異端者」と呼ばれた「異端者経営者」が少しずつ出てきている。混迷の時代を切り開くはぐれ者トップだ。
2. 彼らに共通するのは、人と違う道歩んできたのだ。それは「異端者の成長3種類」と呼ばれるものだ。(1)山ごもり型…常識が異なる世界に飛び込みビジネスの在り方を捉え直す。(2)急がば回れ型…傍流にもまれることでかえって成長速度が速まるケース。(3)脇道まっしぐら型…出世を気にせず興味の赴くままに突き進めば異能が育つ。

(参考:「日経ビジネス」2022年7月25日号)

古典に学ぶ

分不相応の学問の結果

(解説) 学問すれば誰でも皆偉い者になれる、という一種の迷信のために、自己の境遇生活状態をも顧みないで、分不相応の学問をする結果、後悔するがごときことがあるのである。ゆえに一般の青年は自己の資力に応じて小学校を卒業すると、それぞれの専門教育に投じて実務的技術を修むべきである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)